

[教会に欠かせない四つの柱]

- 一つ目の柱：主の栄光のために生きる
- 二つ目の柱：福音に生きる
- 三つ目の柱：大切な戒めに生きる

※ヨハネ 14:15, 21

「もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。…わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。」

「それらの動機は素晴らしいものですが、試練や困難、苦難、そして死の危険に直面したとき、あなたを支えることはできません。ただ一つ、どんな試練の中でもあなたを支え続ける動機があります。それこそ、キリストの愛です。」(ハドソン・テラー)

○四つ目の柱：大宣教命令に生きるとは

1. 命令の土台：_____ (18)

※ピリピ 2:9-11

「それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。」

※1 コリント 15:10

「ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」

※ヨハネ 16:33

「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

2. 命令の内容：_____ (19-20a)

「『弟子』という言葉は、初期の信者にとって最も一般的な呼び名でした。弟子であることは、単なる改宗者や教会の一員であること以上の意味を持っていました。見習いという言葉が、それに相当するかもしれません。弟子は師に付き従い、師と一つとなり、師から学び、師と共に生活しました。ただ聞くだけでなく、実践を通して学んだのです。」(ウォーレン・ワーズビー)

1) 行くこと

2) バプテスマを授けること

※使徒 2:37-38, 41

「人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち。私たちはどうしたらよいでしょうか」と言った。そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。」「そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。」

3) 教えること

※コロサイ 1:28

「私たちは、このキリストを宣べ伝え、知恵を尽くして、あらゆる人を戒め、あらゆる人を教えています。それは、すべての人を、キリストにある成人として立たせるためです。」

3. 命令と約束： _____ (20b)

※2 テモテ 4:16-17

「私の最初の弁明の際には、私を支持する者はだれもなく、みな私を見捨ててしまいました。どうか、彼らがそのためにさばかれることありませんように。しかし、主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。…」

※ヘブル 13:5-6

「…主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」そこで、私たちは確信に満ちてこう言います。「主は私の助け手です。私は恐れません。人間が、私に対して何ができませんでしょう。」